

フランス戦没者記憶協会」記念式および日本語説明板除幕式

このたび比治山の陸軍墓地内にあるフランス人墓地に、日本語による説明板が新たに設置され、その除幕式が下記の要領でジュール・イルマン在京都フランス総領事ご臨席のもと、開催いたします。

なお当日、除幕式に先立ち同地において、「スーヴニール・フランセ協会」（「フランス戦没者記憶協会」）による、記念式典が開催されます。お誘い合わせの上、ご参列くださいますようご案内いたします。

記

「フランス戦没者記憶協会」記念式および日本語説明板除幕式

日時：2021年11月19日（金）16:00～16:30

場所：比治山陸軍墓地内フランス人墓地

主催：広島日仏協会

在京都フランス総領事館

フランス戦没者記憶協会（日本）



●日本語説明板設置の経緯

これまで同フランス人墓地に日本語の説明がどこにもなかったため、日本人訪問者にとって、どこの国の人のお墓なのか、どのような理由で外国人のお墓がこの陸軍墓地内にあるのかが分からなかった。

●比治山のフランス人墓地について（経緯）

- ・1900年、中国、義和団の乱に際し、日本を含む8カ国（フランス、ドイツ、イギリス、イタリア、オーストリア、ロシア、アメリカ）が連合して鎮圧。これを日本では北清事変と呼んでいる。
- ・フランス傷病兵120名余を広島に搬送、陸軍病院（現在の基町高層アパート辺りにあった）で治療。
- ・そのうち7名は治療の甲斐もなく落命。
- ・日本側は、陸軍墓地の南端、マルセイユまで続く海を見下ろす絶景の一角を提供。
- ・以来121年間にわたり、比治山陸軍墓地奉賛会の人々の手により、陸軍関係の日本人墓地と同様に、丁寧に維持管理されてきている。
- ・参考資料：<https://hirodaimasters.web.fc2.com/sanpomichi/harano.pdf>

●「スーヴニール・フランセ協会」（「フランス戦没者記憶協会」）について
フランスのために命を落としたフランス人のことを忘れずに記憶し続け、その記憶を後世に継承することを目的とした民間団体。

広島フランス人墓地内にある7人の兵士の墓の中央に建っている記念碑は、「スーヴニール・フランセ協会」と当時の在日フランス人によって建てられたもの。

・参考資料：

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/nharano/Souvenir%20Francais.pdf>

●これまでのフランス人墓地関連マスコミ報道（以下の報道は、テレビ放映を除き、「原野 昇のホームページ」の当該サイトで読むことができる。）

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/nharano/HijiyamaFolder.html>

中国新聞

2003. 6. 25

2008. 6. 17

2008. 6. 21

2018. 3. 27～2018. 4. 5（緑地帯）

朝日新聞

2016. 2. 24

読売新聞

2005. 7. 9

2016. 2. 23

日本経済新聞

2012. 3. 14

産経新聞

2008. 6. 21

広島テレビ

2008. 7. 5「108年目のボンジュール」

情報提供者（詳細お問い合わせ先）

広島日仏協会

広島市中区中町6-30 広テレプラザ6階

電話：082-569-5450

メール：sfjhiro@crocus.ocn.ne.jp